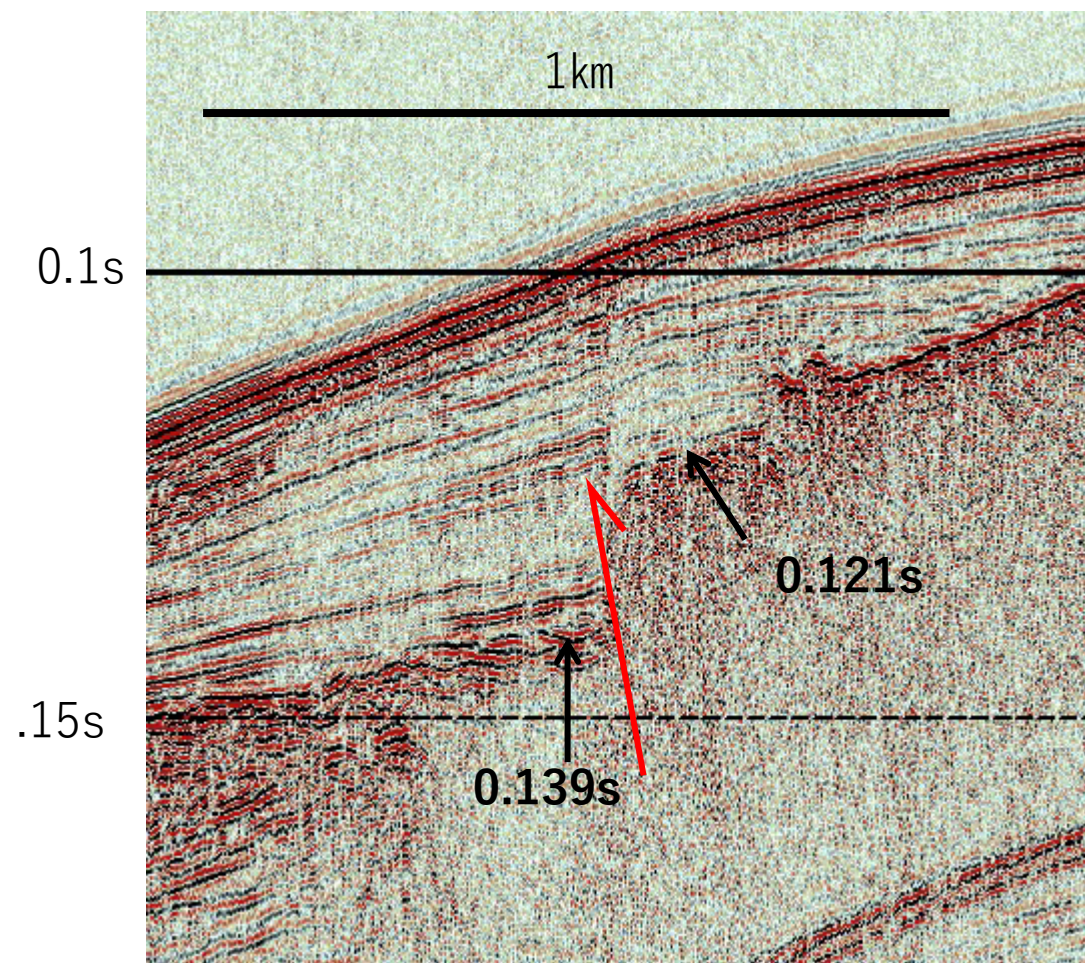


能登半島周辺浅海域の活断層の変位量

2024/9/17

産業技術総合研究所
活断層・火山研究部門
岡村行信

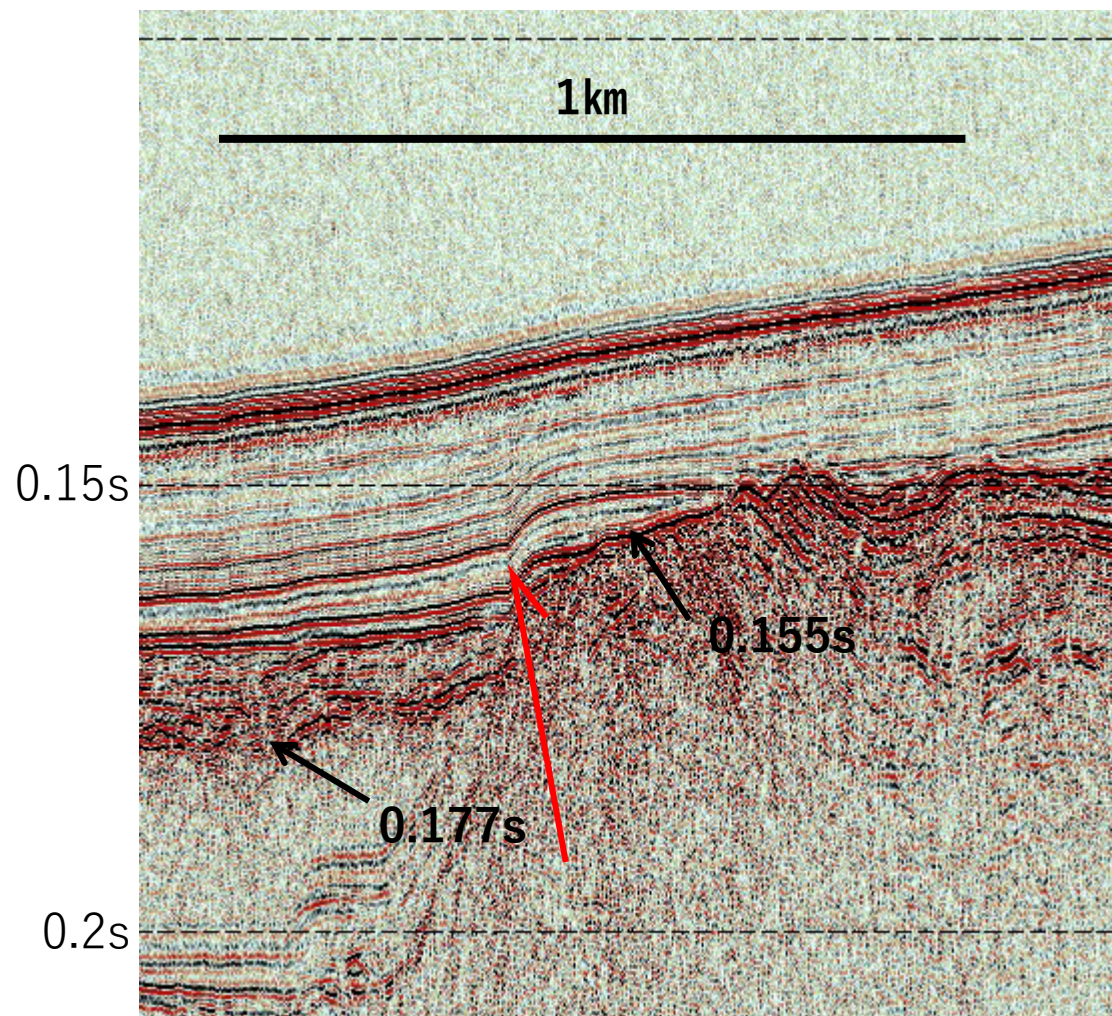
海士岬沖東 L11



矢印は最終氷期に
形成された反射面
深度を示す

$$0.121 - 0.139 = 0.018$$

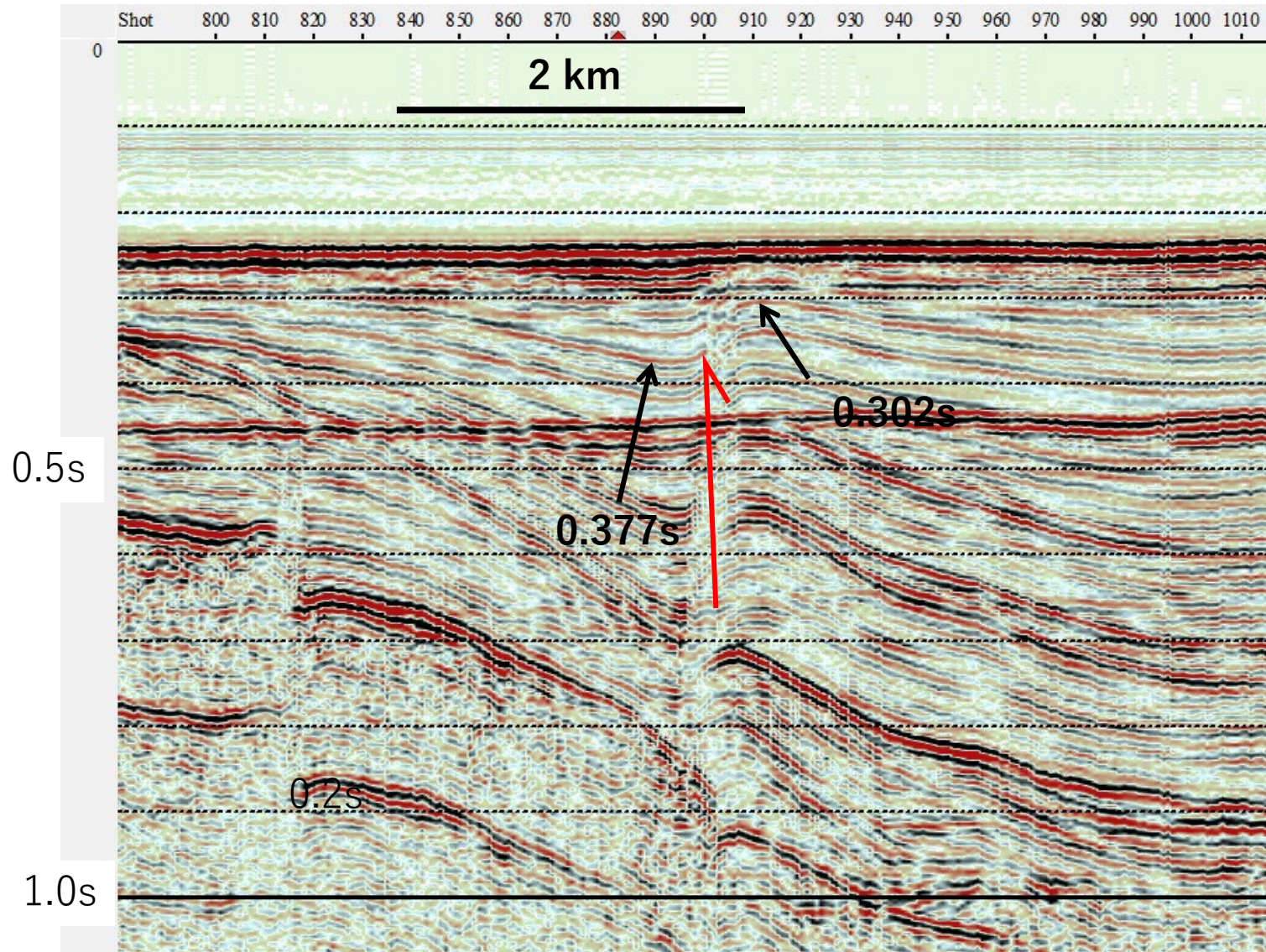
門前沖区間 L8



矢印は最終氷期に
形成された反射面
深度を示す

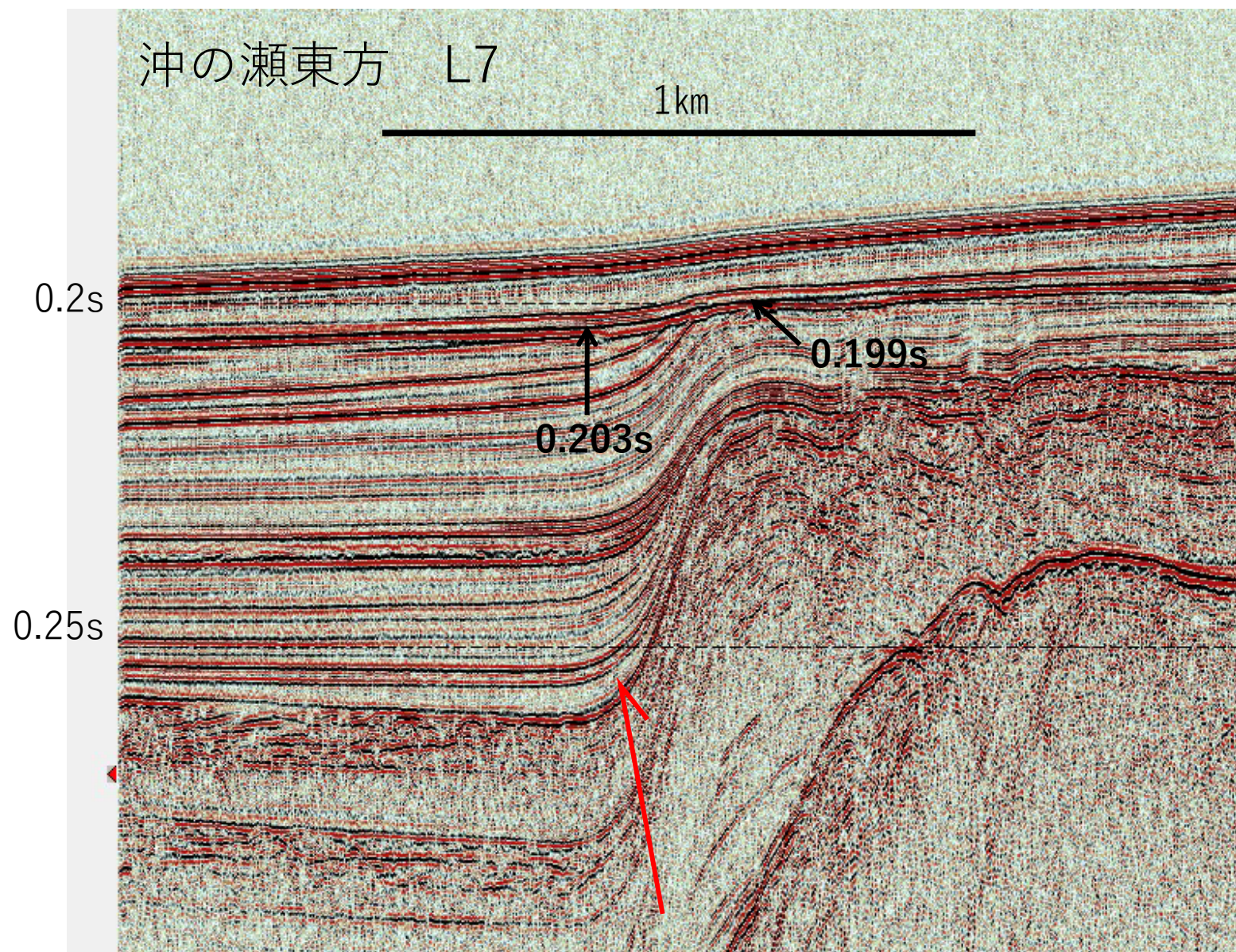
$$0.177 - 0.155 = 0.022$$

海士岬沖区間 117



矢印は基準面Q1層
の深度を示す

$$0.377 - 0.302 = 0.075$$



矢印は最終氷期に
形成された反射面
深度を示す

$$0.203 - 0.199 = 0.004$$

猿山沖 N5

1km

0.1s

矢印は最終氷期に
形成された反射面
深度を示す

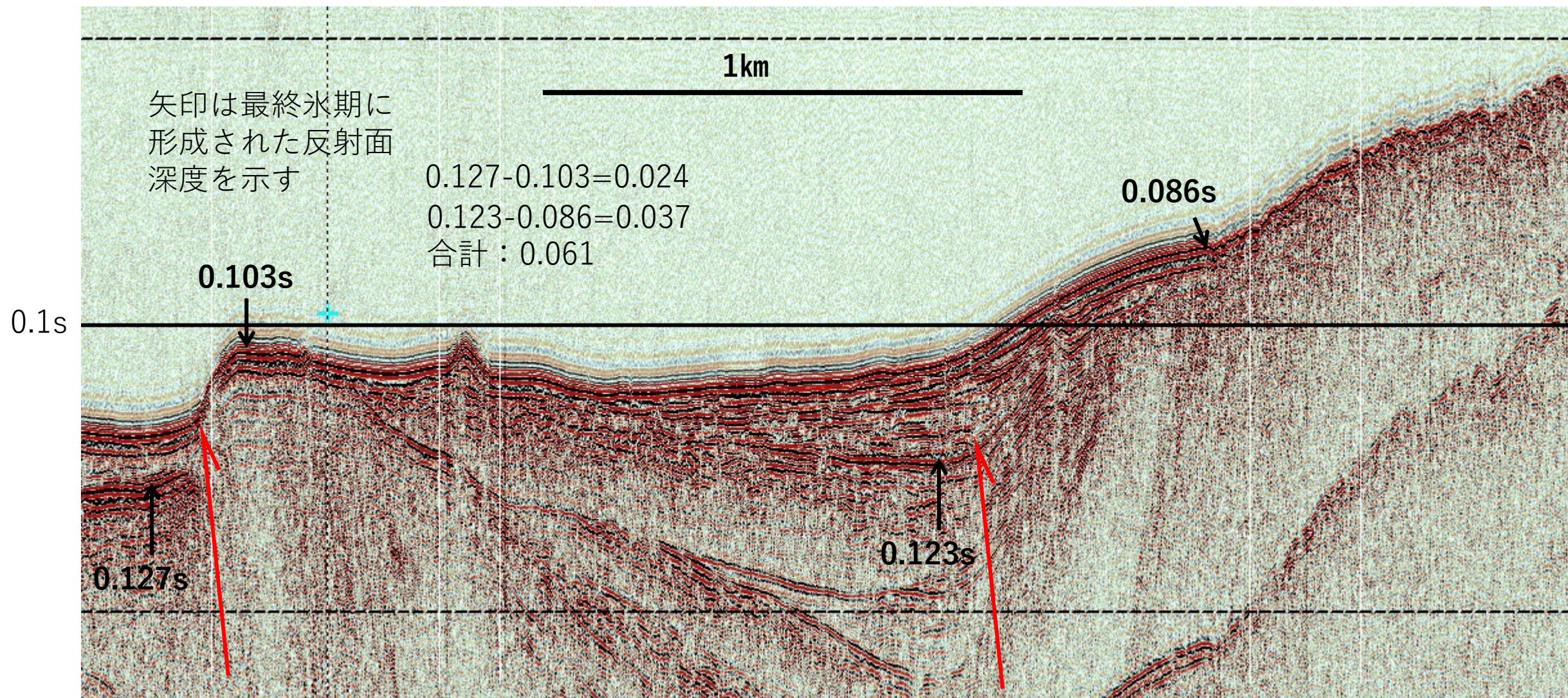
$$0.152 - 0.106 = 0.046$$

0.106s

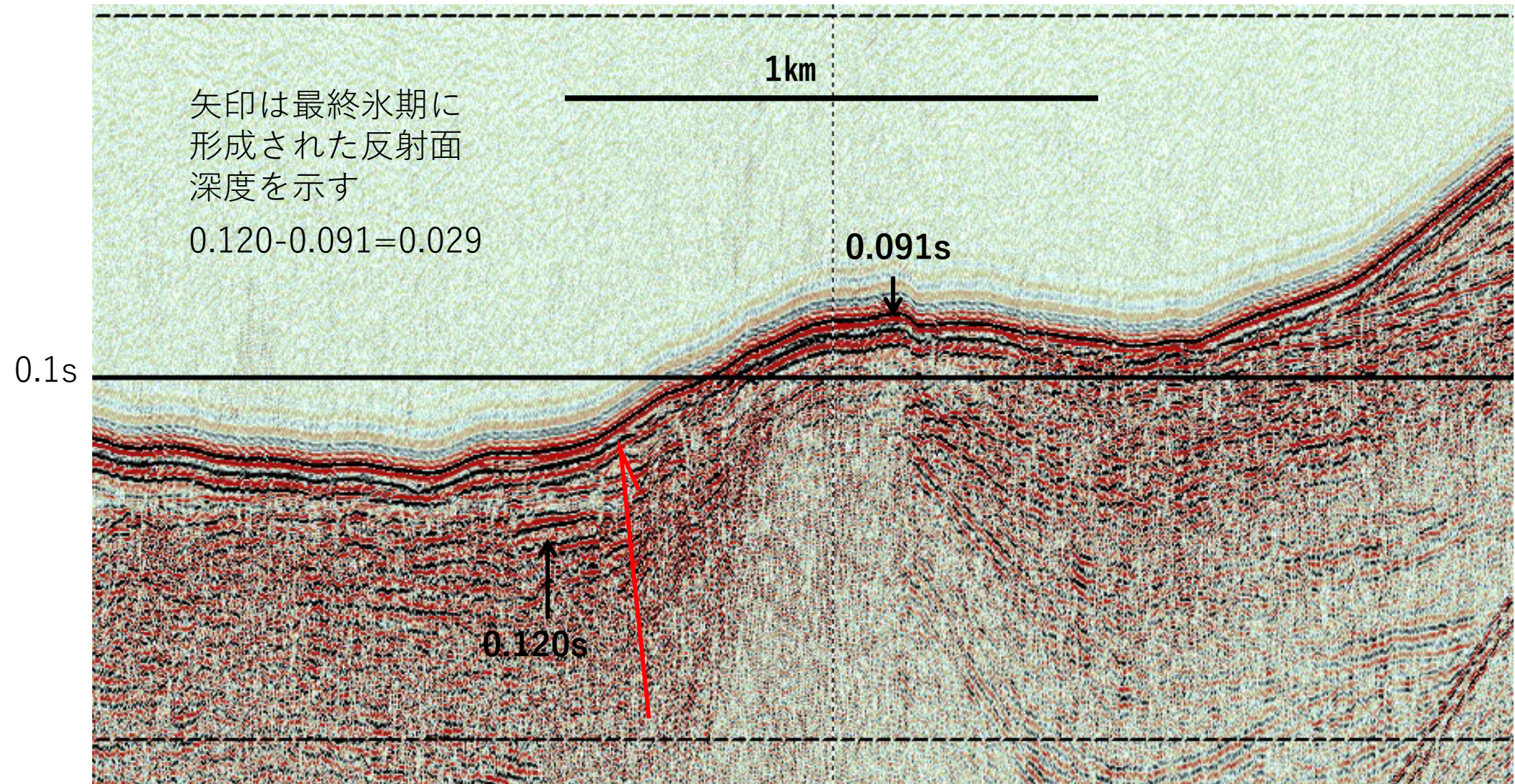
0.152s

0.2s

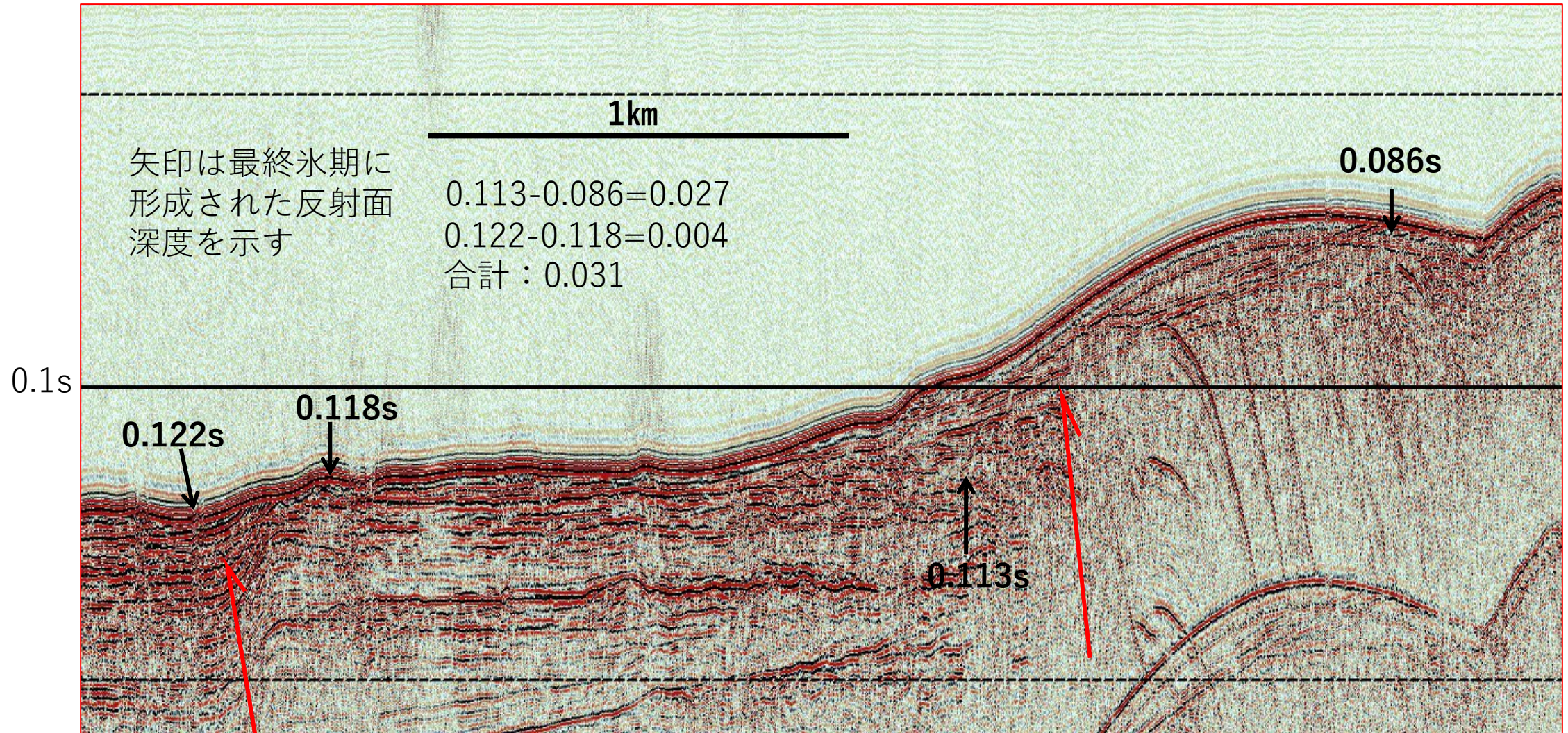
輪島沖 N22



輪島沖 N25



輪島沖 N29



珠洲沖区間 N35

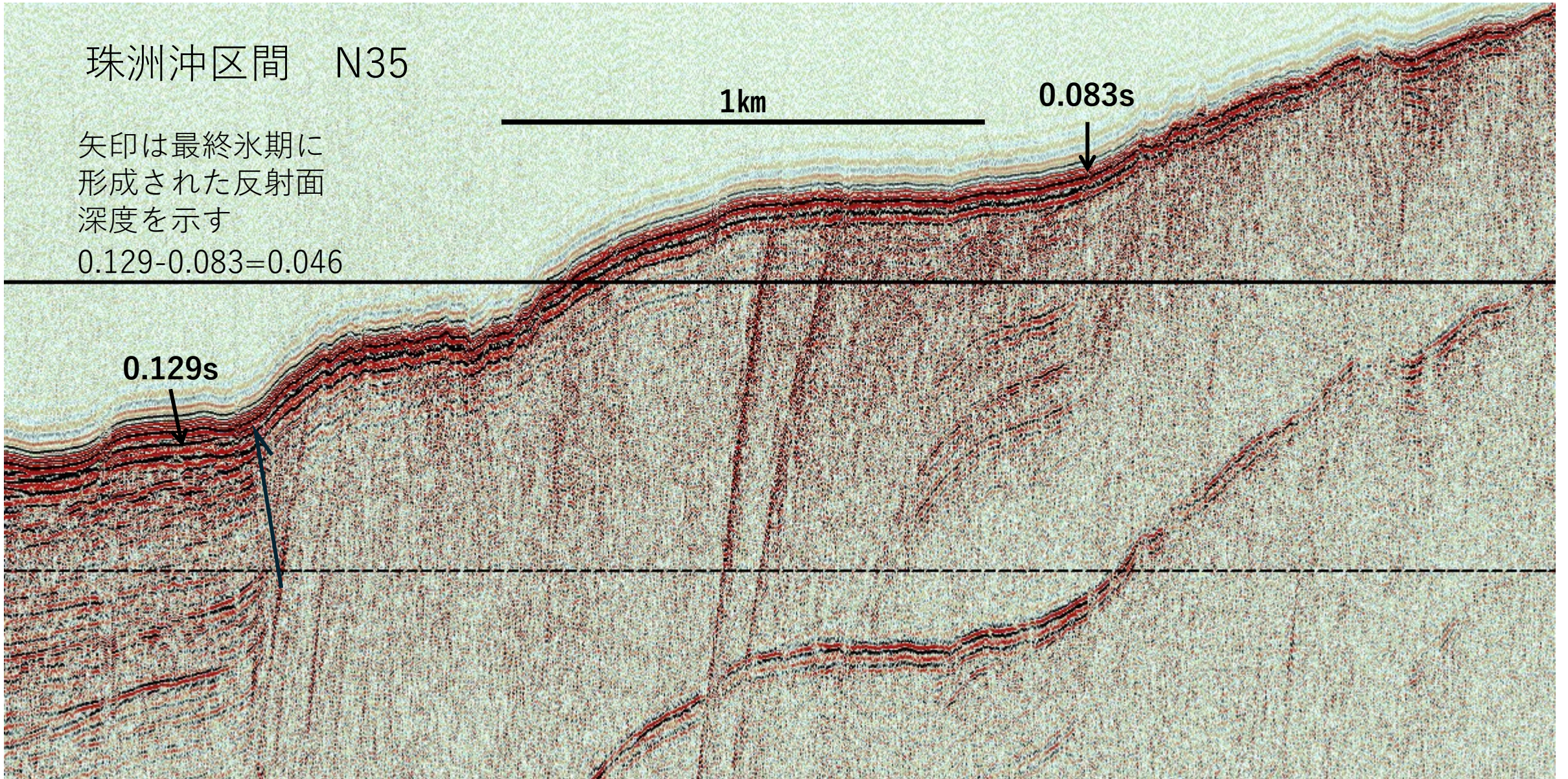
矢印は最終氷期に
形成された反射面
深度を示す

$$0.129 - 0.083 = 0.046$$

1km

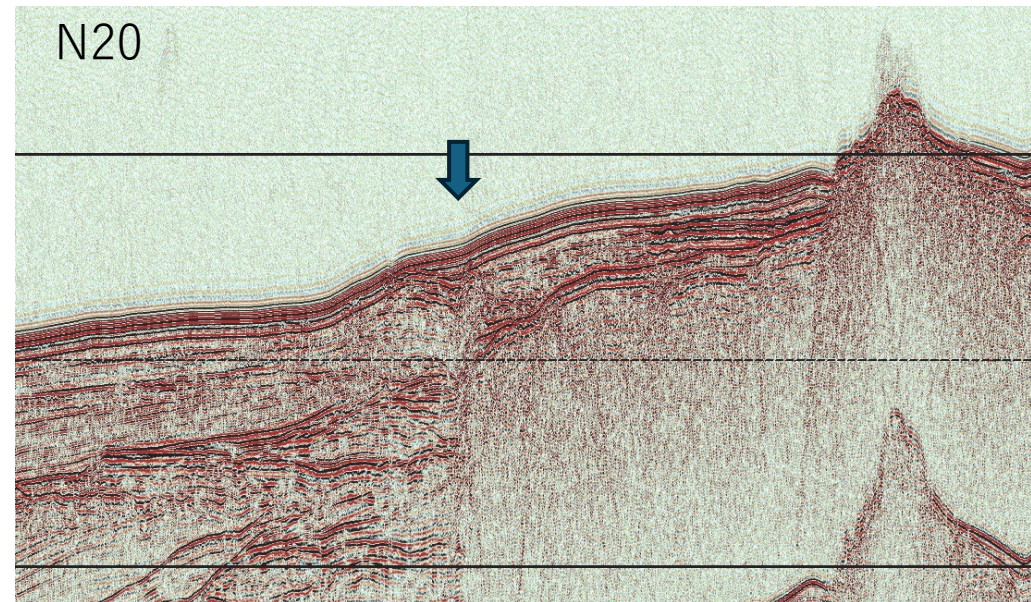
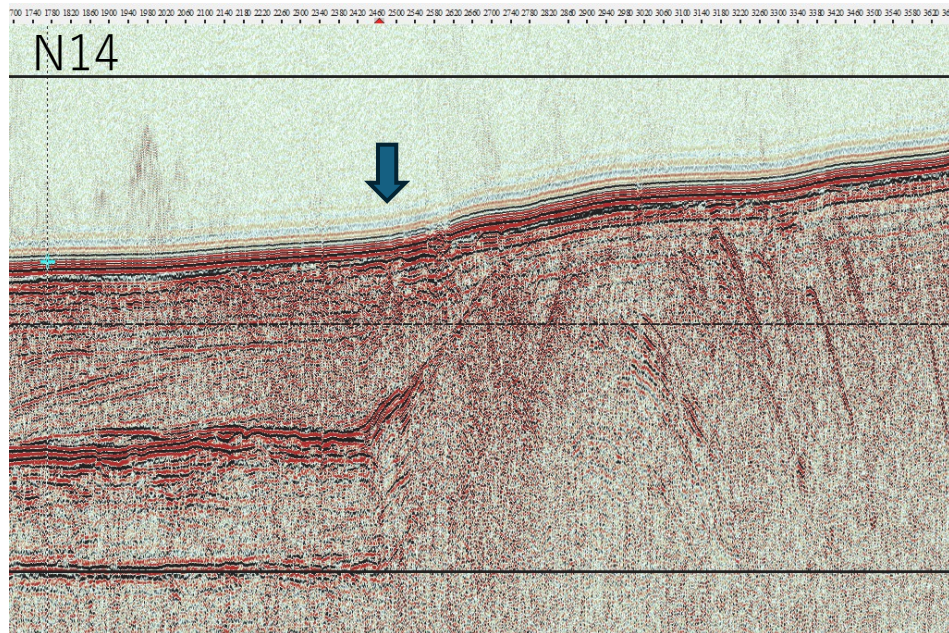
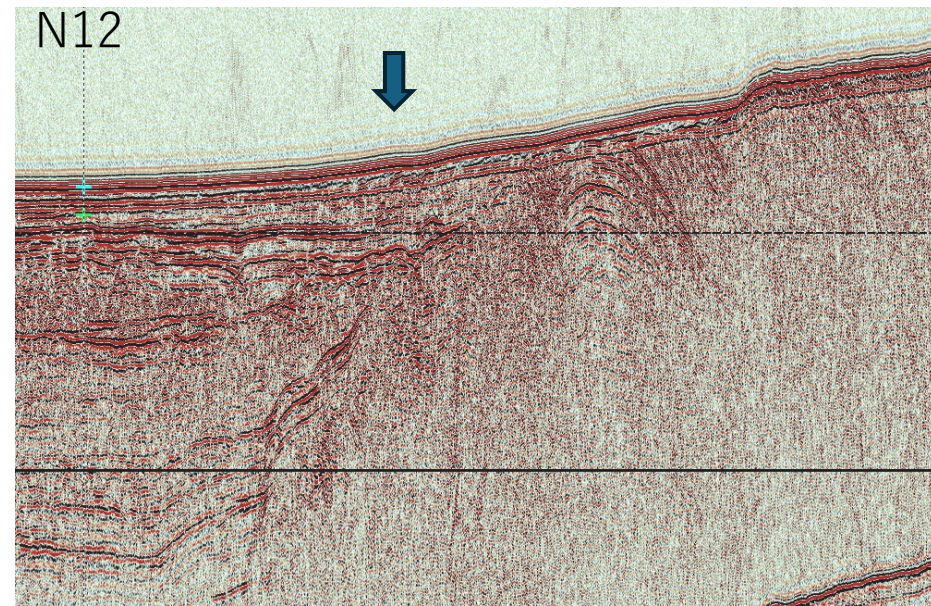
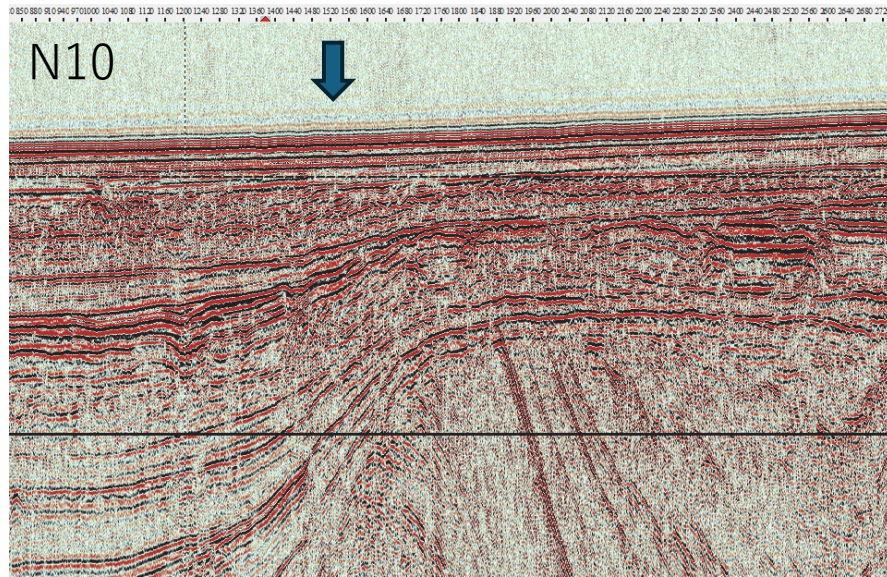
0.083s

0.129s



輪島はるか沖

いずれの断面も最終氷期以降の堆積物は非常に薄いと推定される。



2 7 d

